

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (近畿)	良く なっている	乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・ 値上げの動きはみられないが、し好品である高級車を検討する客は、良い物や納得できる物であれば、価格が高くても購入する傾向にある。
		住関連専門店 (店員)	来客数の動き	・ 模様替え需要で来客数が増加している。
		高級レストラン (企画)	来客数の動き	・ 特に夕食の時間帯の来客数が増加している。
		都市型ホテル (客室担当)	単価の動き	・ 客室の稼働率は高い水準で安定しており、客室単価は更に上昇傾向となっている。
	やや良く なっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・ お盆を過ぎてから消費ムードが悪くなり始め、今に至っている。消費者が節約に目覚めたほか、ヒット商品もない。
		一般小売店[事務用品](経営者)	販売量の動き	・ 消費税増税の影響が一段落した感覚があり、少し消費が戻ってきたようである。
		百貨店(売場主任)	来客数の動き	・ 入店客数が前年を上回るようになってきた。秋物商品のほか、新しい物や楽しい物、こだわりのある物の動きが良い。
		百貨店(売場主任)	販売量の動き	・ 例年よりも気温の低下が早く、秋物衣料品の売行きが好調である。ただし、高額な輸入品については、引き続き消費税増税の影響が続いている。
		百貨店(売場主任)	来客数の動き	・ 耐震工事のために売場面積が減少しているため、判断が難しい部分はあるが、3か月前に比べると売上は3%増加している。
		百貨店(企画担当)	お客様の様子	・ 気温の変化に伴い、秋物商品が例年よりも早く動き出している。
		百貨店(営業担当)	来客数の動き	・ 食料品の動きは低調であるが、新規導入の書籍には顧客動員力があり、新規客が増えている。
		百貨店(外商担当)	販売量の動き	・ 気温の低い日が何日か続いたことにより、秋冬物の婦人服の売上が伸びている。来客数も前年を上回ってきているが、大きな伸びではなく、本格的な売上の増加には至っていない。
		百貨店(服飾品担当)	販売量の動き	・ 9月に入り、前月後半に苦しかった売上が徐々に回復傾向にある。消耗品で2か月に一度は買いに来る化粧品は、例年この時期に売れる冬の乾燥肌対策のスキンケア商品を中心に回復しており、店舗によっては前年の売上を上回っている。また、し好品であり、この時期に新作が多く出るバッグなども好調である。ダイヤモンドなどのアクセサリは、節約感から高額品はあまり売れず、価格と品質のバランスが取れている商品が売れている。
		百貨店(売場マネージャー)	お客様の様子	・ 気候の変化によるファッション需要が出てきている。今年は新たなトレンドが明確であり、消費税増税の影響で我慢していた消費が秋物で動き出している。
		百貨店(売場マネージャー)	販売量の動き	・ 消費税増税前の駆け込み需要の反動があった6月に比べると、前年比は約5%改善している。今月は涼しいこともあり、婦人服は高級ブランドなどの高額商材を中心に、売上が前年を上回っている。化粧品も、先月に続き2か月連続で前年を上回った。紳士の重衣料のほか、近隣に大型ショッピングセンターがオープンしたことで、子ども服が苦戦している。
		スーパー(店長)	お客様の様子	・ 販売点数、来客数共に回復傾向となっており、消費税増税の影響も予想したほどではない。
		スーパー(企画)	単価の動き	・ 客単価は上がっているが、来客数はほぼ横ばいである。消費税増税後の動きについては、食品は影響がみられないものの、衣料品や住居関連品は苦戦している。所得の増加を物価の上昇が上回っており、消費の二極化が進んでいる。
		コンビニ(経営者)	来客数の動き	・ テナントビルの空室が少しずつ埋まってきているほか、駐車場になっていた場所でマンション建設が始まり、工事関係者の来店が増えている。
		コンビニ(経営者)	単価の動き	・ プレミアム商品の売行きが相変わらず好調なほか、インターネットゲーム用のプリペイドカードの販売量が増加し、客単価が上昇している。
		一般レストラン(経理担当)	お客様の様子	・ 宴会に参加している、一部の客の様子が明るくなってきている。業種や会社によって明暗が分かれてきているように感じる。

	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・9月は個人客、団体客共に来客数が計画を上回り、前年比でも増加となった。平日の団体客の利用も好調で、客室稼働率も9月としては非常に高くなっている。
	観光型旅館(経営者)	来客数の動き	・来客数は増えているが、単価が低下気味である。
	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・客室は、好調なビジネス需要に加えて、台湾や中国、韓国の団体ツアーが円安効果などで大幅に増えている。満室で予約を取れない日も増え、客からの苦情も増えている。宴会は、会場の改装工事で半月以上も営業中止となっており、前年との比較は難しいが、周辺の競合施設では格安のパーティープランが増えているなど、苦戦を強いられている様子である。
	都市型ホテル (総務担当)	単価の動き	・宿泊部門が好調である。稼働率の変動はないが、海外からの観光客のほか、国内観光の家族客の利用が多く、1部屋当たりの販売単価が上昇している。
	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・今年の7月ごろから来客数が前年を上回っている。理由は複数あるが、特に外国人客の増加が目立つ。
	住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・夏までは客の動きが少なかったが、この時期になって購入や売却などの動きが出てきた。新規顧客も安定的に増えている。
	住宅販売会社 (経営者)	単価の動き	・成約するかどうかに関係なく、売出価格が上がっており、前年比で10%近く上昇した感がある。
変わらない	商店街(代表者)	それ以外	・免税売上が急速に伸びている一方、通常の売上は相変わらず苦戦している。
	一般小売店[菓子] (経営企画担当)	販売量の動き	・9月と6月の売上前年比を、各地区別に上位5店舗の平均で見ると、関西は9月が97.4%で、6月が93.7%、関東は9月が96.7%で、6月が85.4%、中部は9月が96.7%で、6月が89.3%、中国は9月が99.1%で、6月が102.1%となり、各地区合計の平均は9月が97.4%で、6月が92.2%となっている。相変わらず全国的に悪いが、中元商戦時に比べると徐々に良くなっているように思われる。ただし、予断は許されず、依然として厳しい状態が続いていることに変わりはない。
	一般小売店[精肉] (管理担当)	販売量の動き	・夏休みが終わり、例年よりも早く気温が下がっているように感じる。8月の気候の変調に伴い、野菜が高騰したり、季節感がいつもと異なることで食生活に影響が出ているように感じる。景気とは関係ないものの、商品の品ぞろえが変われば、やはり安く抑えようとする傾向が出てくる。消費税増税の影響も見え隠れしている。
	一般小売店[鮮魚] (営業担当)	お客様の様子	・国内客向けの販売は少ないが、外国人観光客への販売が増加している。
	一般小売店[衣服] (経営者)	販売量の動き	・夏物衣料の動きが止まり、少しずつ冬物衣料に移ってくる時期であるが、例年どおり全体としての動きは悪い。季節的な要因が強いため、景気の影響しているわけではないが、景気に明るさを感じるかといえば決してそうではない。
	一般小売店[菓子] (営業担当)	お客様の様子	・良くもなく、悪くもないという状況が続いている。
	百貨店(売場主任)	お客様の様子	・まだまだ経済状態が良くないため、食料品を中心に、ぜいたく品は一部を除いて低迷している。ブランド品の動きも限定的である。消費税増税や円安の進行による影響のほか、東日本大震災の復興も遅れているため、政府の抜本的な対策が早急に必要である。
	百貨店(売場主任)	お客様の様子	・今月は気温が低めの影響もあって、秋物の動きが良く、目標を上回る予定である。ただし、商品の動きが例年よりも前倒しとなっていることが大きな要因であり、景気が良くなっているわけではない。不要不急の商品は買わないという客の傾向は変わらず、商品の購入にはむしろ慎重さがみられる。
	百貨店(企画担当)	お客様の様子	・消費税増税後の現金売上は、まだ前年を下回る傾向が続いている。外国人売上や外商の上得意客は、売上が増加基調となっているが、トータルではほぼ前年並みという状況が続いている。

百貨店（売場マネージャー）	来客数の動き	・消費税増税後は、6～8月にかけて来客数や販売数量に回復の兆しが若干みられたものの、9月は天候が昨年に比べて良かったにもかかわらず、来客数が減少傾向にある。特に、ボリューム層の動きが悪い。秋物衣料で盛り上がる時期ではあるが、メンズは好調である一方、レディースが良くない。アイテム別の動きでは、雑貨や靴など、身の回り品が苦戦している。
百貨店（販促担当）	来客数の動き	・今月は多少波があるものの、前年並みの推移である。ただし、一部の高額品の需要がみられる半面、衣料品が伸び悩んでいる。セール商品も動きが低調である。
百貨店（マネージャー）	販売量の動き	・気候の影響で、秋物衣料品の売上は前年比で8%増と好調であるものの、生活雑貨のリビング関連や食器、調理関連のほか、高額品の宝飾、時計の販売量は前年割れが続いている。
百貨店（サービス担当）	お客様の様子	・今月は、先月に比べて天候が安定し、台風の発生も少なく、来客数が増加している。全体的な売上の動きに変化はないが、物産などの催事に限っては来店客も多く、好調に推移している。
百貨店（商品担当）	販売量の動き	・今月の中旬から気候が安定し、秋物も動きをみせるなど、全体的に回復感が出てきた。また、ここへきて外国人観光客の動きが目立ち始めている。
スーパー（店長）	来客数の動き	・季節が変わり、月前半から中旬にかけて季節品の動きが活発となった。その後、月後半にやや気温が上がって売行きが悪くなったため、景況感が好転したとは判断しにくい状況である。
スーパー（店長）	販売量の動き	・気候条件が良いため、食品以外の季節品の動きが順調で全体を押し上げているが、食料品や日用消耗品は相変わらず販売量が戻っていない。
スーパー（店長）	単価の動き	・商品の実質的な値上げや、実はそれほど上昇していなかった賃金など、消費が回復するような話題はない。また、ヒット商品や話題となる商品も少なく、厳しい状態が続いている。
スーパー（企画担当）	販売量の動き	・売上の前年比に変化がない。
スーパー（経理担当）	販売量の動き	・秋の訪れが例年以上に早かったほか、天候不順もあり、販売環境は良くなかったが、野菜や肉の相場高もあり、販売状況は堅調に推移している。
スーパー（社員）	販売量の動き	・競合店舗が出店した地域は、来客数や買上点数の減少といった影響を受けている。ただし、それ以外の店舗は、チラシ投入日を中心に客の買上数が増加しており、客単価も着実に上昇している。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・ここ3か月は、昨年よりも雨が多かったり、涼しかったこともあり、品ぞろえの面では厳しかったが、販売量は横ばいとなっている。
コンビニ（店員）	販売量の動き	・来客数が減少しているわけではないが、売上の低迷が続いている。
衣料品専門店（販売担当）	お客様の様子	・季節的な要因もあるが、買い控えをしている客が多い。
家電量販店（店員）	お客様の様子	・価格の高い商品よりも、安い商品を探す傾向は変わらない。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・消費税増税の影響で先行きは心配であるが、現状は安定している。
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・今月に入り、新型車は好調であるが、既存の車種は前年と変わらない。
乗用車販売店（営業企画）	単価の動き	・9月は中古車業界の繁忙期であるが、月前半は単価が上がってこなかったものの、後半は例年どおりの単価に戻った。ただし、全体としては前半の不調が響いた印象がある。
その他専門店 〔医薬品〕（経営者）	それ以外	・東京を中心にデング熱の感染が広がったことで、蚊や虫刺されに非常に敏感になっている。特に、8月下旬～9月上旬にかけては、殺虫剤や虫刺され剤の動きが多かった。
その他専門店 〔宝飾品〕（販売担当）	お客様の様子	・来店客のなかに購入意思のある客が少ない。
その他専門店 〔スポーツ用品〕（経理担当）	販売量の動き	・4～6月に続き、7～9月も景気が大きく上向きようなムードはない。値上げ感ばかりが目立つ。

高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・先月からランチは停滞気味で、ディナーも日によって非常に波がある。	
一般レストラン (経営者)	競争相手の様子	・新たな取組による宣伝効果や、クーポンの期限が迫っていることもあり、9月は来客数が増えたものの、客単価が低いため利益は少ない。他店で話を聞いても、にぎわっている日と閑散としている日の差が大きいようである。	
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・客からも景気の悪い話は聞かれない。昼の来客では主婦層が減少するなど、ランチもより安い店に移る傾向がある。	
一般レストラン (店員)	来客数の動き	・ここ数月は変わった動きがない。	
一般レストラン (企画)	単価の動き	・平日のディナータイムや土日の営業全般で客単価の低下がみられ、売上全体の減少につながっている。	
その他飲食 [コーヒー ショップ](店 長)	来客数の動き	・利用客数、単価ともに前年比で大きな変化はなく、景気が良くなっていると実感できる要素はない。気温が例年よりも低く、客足は鈍化しているため、むしろ景気が悪くなっていると感じる。	
観光型旅館(団 体役員)	単価の動き	・8月の天候不順によるキャンセル分が、9月に入っても取り返せるほど回復していない。	
都市型ホテル (支配人)	来客数の動き	・宿泊は好調を維持しているが、宴会はかなり減少しており、会場の利用が減っている。年末年始の忘年会、新年会の予約も、昨年はこの時期にかなり入っていたが、今年は出足が遅い。	
旅行代理店(経 営者)	販売量の動き	・国内旅行の動きは昨年よりも少し鈍いが、海外旅行は昨年並みの流れとなっている。全体的に夏商戦以降は力強さを感じられない。	
旅行代理店(営 業担当)	販売量の動き	・法人需要は引き続き堅調である一方、一般消費は堅調とはいえないが、潮目が変わったというほどの変化はない。	
タクシー運転手	お客様の様子	・消費税増税による運賃の値上げで乗車機会の減少が懸念されたが、影響は最小限にとどまっている。	
通信会社(経営 者)	お客様の様子	・公共事業を中心とした建設業界の好景気と、個人消費の買い控えの動きが入り混じり、良いとも悪いともいえない。	
通信会社(社 員)	販売量の動き	・新規契約の落ち込みはそれほど大きくないが、解約数が若干増加傾向にある。	
その他レジャー 施設[飲食・物 販系滞在型施 設](企画担 当)	販売量の動き	・前年に比べて人の動きは悪くないが、消費性向はやや落ちている気がする。	
美容室(店員)	販売量の動き	・パーマやカラーといった単価の高いオーダーがよく出ている。	
その他サービス [ビデオ・CD レンタル](エ リア担当)	販売量の動き	・中心となる商品のレンタルや、書籍、文具の売上は前年並みであるが、旗艦店の売上はかなり好調である。	
住宅販売会社 (総務担当)	販売量の動き	・消費税増税後の回復がみられず、全体的に顧客の動きも鈍い。	
その他住宅[情 報誌](編集 者)	お客様の様子	・分譲マンションは施工費の上昇が顕著であり、販売時期の延期が続くなど、品薄の状態が続いている。本来ならば需要が上回ることで販売好調となるはずが、全体的には好調といえない状況である。	
やや悪く なっている	一般小売店[時 計](経営者)	お客様の様子	・今月は売上、来客数共に厳しかったが、客の元気がなかったことが印象的であった。常連の若い男性客からは、休みを返上して仕事をして、給料が上がらないので結婚できないとの声が聞かれ、複数の年配の女性からは、おしゃれをする余裕がないという声が聞かれた。明るくて元気のあった客が暗くなってきている。
	一般小売店[珈 琲](経営者)	それ以外	・円安の進行やコーヒー豆の先物相場の高騰による、原料価格の上昇が予想される。販売価格に転嫁ができるかが今後の課題となる。
	一般小売店[衣 服](経営者)	お客様の様子	・秋物の売上は良くないが、景気が悪いからなのか、天気が悪いからなのかは分からない。
	百貨店(営業企 画)	来客数の動き	・来客数の動きが、消費税増税後の落ち込みから回復しない。
	スーパー(経営 者)	競争相手の様子	・競合店のチラシは、8月末までは週2回のペースであったが、今は2日に1回となり、日替わり商品の価格も下がっている。

	スーパー（経営者）	お客様の様子	・上位顧客の買上金額は上がっているが、来店頻度が減っている。そのほかの顧客も含めて、特売日に来店が集中する傾向が強まっている。賃金の増加が増税の影響に打ち消され、生鮮品の相場上昇も追い打ちとなり、生活防衛色が強まっていると感じる。
	スーパー（広報担当）	来客数の動き	・日常の買物に対する節約志向が強まるなど、消費マインドは確実に低下している。
	コンビニ（広告担当）	来客数の動き	・夏場からの天候不順が原因で、昨年よりも動きが悪くなっている。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・気候が落ち着いてきたにもかかわらず、年齢の高い客の来店が減っている。
	家電量販店（経営者）	販売量の動き	・必要ではない物を買って控える客が多いように感じる。家電業界は売上が落ち込む時期に当たるが、予想以上に販売量が少ない。
	家電量販店（企画担当）	お客様の様子	・白物家電など、夏商戦の対象商品の販売量が大きく落ち込んでいる。秋物商品や太陽光発電関連の販売量も伸びていない。
	住関連専門店（店長）	販売量の動き	・季節の変わり目で売上が増えるはずが、増加がみられない。夏休みから今月のシルバーウィークまでのレジャーシーズンで娯楽への消費が増え、物品の購入にお金が回せないようである。
	その他専門店〔宝石〕（経営者）	お客様の様子	・4月以降の消費税増税の影響や、物価上昇の影響もあり、客の消費に対する意欲が以前よりも落ちている。
	その他専門店〔食品〕（経営者）	販売量の動き	・天候の影響かどうかは分からないが、外食、中食共に全体として落ち込んでいるような気がする。
	その他小売〔インターネット通販〕（企画担当）	競争相手の様子	・同業他社とともに、ファッション関連を中心に売上が前年を下回る状況に歯止めがかからない。
	観光型旅館（経営者）	単価の動き	・土砂崩れで道路が通行止めになった昨年9月に比べると、客の入込も例年並みに戻ってきている。ただし、3か月前と比べると客単価は横ばいである。
	旅行代理店（広報担当）	お客様の様子	・消費税増税がここへきてかなり重圧になっている様子である。増税後も所得が増えるといった報道に期待していたが、現実とは予想していたほどでもない。厳しい状況になり、旅行どころではないといった声を聞く。
	タクシー運転手	お客様の様子	・日に日に悪くなっている。
	タクシー運転手	競争相手の様子	・消費税率が上がったことでガソリン価格も高騰し、全体の雰囲気が冷え込んでいる。
	競輪場（職員）	単価の動き	・3か月前の客単価は9,831円で、今月の客単価は9,691円と低下している。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・新築分譲マンションの売行きがやや悪化しており、各社は供給戸数を減らして契約率の引上げを図っているが、モデルルームへの集客が落ち込んでおり、厳しくなっている。
	その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	それ以外	・身近な世帯の給料は上がっていないように思われるほか、円安による物価上昇もあり、買い控えの動きがみられる。
	その他住宅〔展示場〕（従業員）	お客様の様子	・9月の住宅展示場への来場数は昨年よりも増えたが、これは客の反応が鈍く、集客イベントを強化したからであり、家を建てる予定の客は減少傾向にある。
悪くなっている	一般小売店〔貴金属製品〕（従業員）	来客数の動き	・消費税増税の悪影響が出ている。
	一般小売店〔野菜〕（店長）	競争相手の様子	・同業者だけでなく、他業種の企業も持ちこたえられなくなっている。
	一般小売店〔花〕（店長）	販売量の動き	・9月は期末で忙しいはずが、今年は暇であり、販売量がかなり減少している。
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・優良顧客でも、今年は秋冬物衣料を買い控えている人が多い。さらに、高額品の引き合いも減ってきている。
	衣料品専門店（経営者）	競争相手の様子	・4月以降、衣料品店の廃業の動きが増えている。頑張っても売上が伸びないため、営業を続けても楽しくないと感じている人が大半である。
企業動向	良くなっている		

関連 (近畿)	やや良くなっている	食料品製造業 (従業員)	受注量や販売量の動き	・消費税増税の直後に比べると、販売量は少しずつ回復している。ただし、前年実績を上回することは難しい状況である。
		プラスチック製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・比較対象が消費税増税後の6月であるため、少しは持ち直した感覚がある。
		電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・海外との取引が増えていることもあり、受注量や販売量はやや上向きとなっている。
		電気機械器具製造業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・受注量は増えていないが、引き合い数が増えてきている。
変わらない		食料品製造業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・前年と比べて天気の良い日は多かったが、気温が平年よりも低いこともあり、飲料水の売上は伸びていない。
		繊維工業(団体職員)	受注量や販売量の動き	・消費税増税後の動きは、4～6月は想定内であったが、7月以降の落ち込みは予想以上であった。現在も状況は変わっていない。
		パルプ・紙・紙加工品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注量に変化はなく、顧客からも大きな変化があるといった話はない。
		化学工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・8月は売上が回復したが、9月に入ってまた悪くなるなど、消費税増税後の景気回復は一進一退の様相となっている。
		化学工業(管理担当)	受注量や販売量の動き	・販売数量が前年比で約3%増となっている。
		金属製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・9月は秋の季節需要や多少の民間需要の増加に期待していたが、特に大きな変化はない。
		電気機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・太陽光発電や燃料電池というエネルギー関連の動きが比較的良好であり、引き合いも増えている。
		電気機械器具製造業(企画担当)	受注量や販売量の動き	・新築戸建の着工件数や、マンションなどの賃貸物件数の減少傾向に変化はなく、関連商品の受注量が伸び悩んでいる。
		電気機械器具製造業(宣伝担当)	受注量や販売量の動き	・業界全体の荷動きは前年並みで推移しており、大きな変化がない。
		輸送用機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・国内の設備投資はやや上向き傾向である一方、海外の設備は現地労務費の上昇などの影響で、価格競争が激化している。
		その他製造業[事務用品](営業担当)	受注量や販売量の動き	・昨年と比べても、特に変化がない。
		建設業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・消費税増税前に始まった工事は一段落したが、民間関係の工事が徐々に増加気味である。一方、技能労務者不足の問題が深刻となっている。
		建設業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・宅地の価格は相変わらず下落傾向が続いており、分譲宅地の引き合いも少ない。
		建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・3か月前とほぼ変わらない状況であり、受注がもう少し伸びると予想していたが、伸び悩んでいる。
		輸送業(営業所長)	受注量や販売量の動き	・四半期決算の影響もあるのが、9月だけでいえば精密機器の荷動きが良い。
		金融業(営業担当)	それ以外	・消費税増税の影響が依然として大きい。
		金融業[投資運用業](代表)	それ以外	・中東情勢の不安定さが地政学的リスクとなって、間接的に日本の株価に影響することを懸念している。
		不動産業(営業担当)	取引先の様子	・神戸から事業所が減っており、社宅なども減少している。その結果、社宅や賃貸マンションの空室率が上がり、賃料が下がっている。
		広告代理店(営業担当)	受注量や販売量の動き	・紙媒体、インターネット媒体共に、5月以降は売上が前年を下回っている。
		広告代理店(営業担当)	受注量や販売量の動き	・今月は、広告出稿について通常と大きく変わった動きはみられない。
		経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・コンサルティングの受注量でみると、あまり変化がない。
		コピーサービス業(店長)	受注量や販売量の動き	・少し閑散期に入っているが、数か月前に比べても受注件数に変化はみられない。
		その他サービス[自動車修理](経営者)	取引先の様子	・取引先からの入庫はあるものの、1台当たりの利益が少ない。
		その他サービス業[店舗開発](従業員)	受注量や販売量の動き	・消費税率の引上げ以降、駅構内の店舗では来客数が前年をわずかに上回っているが、客単価の回復はみられない。

	その他非製造業 [機械器具卸] (経営者)	競争相手の様子	・これから注文につながりそうな見積りや、受注の動向にも大きな変化がなく、現状の受注量も同じような状況である。	
やや悪くなっている	食料品製造業 (経理担当)	受注価格や販売価格の動き	・消費税増税が徐々に負担になり、納入単価の条件が厳しくなってきた。	
	出版・印刷・同 関連産業(情報 企画担当)	取引先の様子	・弱電業界、住宅関連のメーカーによる販促は、依然として低迷している。最低限度の水準にとどまってお り、関西では受注量の減少で中堅印刷業者や紙問屋の 倒産が出てきている。出版業界、大学関連では電子書 籍の活用が増えていることを考えると、紙の消費量は 減少が進むと予想される。	
	金属製品製造業 (営業担当)	受注量や販売量 の動き	・売上や受注が少し落ちてきている。	
	一般機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・当社の顧客は原子力発電関連のメーカーが多いが、 この分野の景況は悪いため、引き合いや受注が減って いる。	
	一般機械器具製 造業(設計担 当)	それ以外	・取引状況は現状維持であるが、生活用品の価格が値 上がりしているため、消費意欲は低迷気味である。	
	輸送業(営業担 当)	取引先の様子	・家具の売上が昨年の80%に減少しており、配達件数 が減っている。	
	輸送業(商品管 理担当)	受注価格や販売 価格の動き	・商品の動きや販売量が減ってきている。	
	通信業(管理担 当)	受注価格や販売 価格の動き	・野菜価格が高騰している。	
	新聞販売店[広 告](店主)	受注量や販売量 の動き	・折込件数が減少している。	
	その他非製造業 [衣服卸](経 営者)	受注量や販売量 の動き	・なかなか消費税増税後の停滞状態から抜け出せない。 不要不急のインテリア商品や寝具商品の動きが特 に悪い。天候不順もそれに拍車をかけている。	
その他非製造業 [商社](営業 担当)	取引先の様子	・住宅の着工件数が減っており、照明器具の出荷が落 ちている。見積を出しても20%程度しか受注できてい ない。		
悪くなっている				
雇用 関連	良くなっている	-	-	
(近畿)	やや良くなっている	人材派遣会社 (支店長)	求人数の動き	・ここ2か月は有効求人倍率が横ばいとなっている が、求人誌をみると求人件数は増えているほか、長期 の案件も多くなってきた。
		人材派遣会社 (支店長)	求人数の動き	・上半期が終わりに近づき、駆け込み需要が増えてい る。
		新聞社[求人広 告](担当者)	それ以外	・新聞広告の出稿状況を見ると、3か月前に比べて関 西の地元企業からの出稿が増えている。
		民間職業紹介機 関(大学担当)	採用者数の動き	・新卒採用は10月1日に内定式を迎えるが、昨年より も状況は良くなっているようである。
変わらない	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・お盆以降、関西の経営者は一様に慎重となってい る。先行きは良くなると思われるが、紹介予定派遣な どで人物をじっくりと確かめてから、正社員の採用を 決める傾向にある。	
	人材派遣会社 (役員)	採用者数の動き	・昨年の秋ごろは、金融機関でN I S A対応や危機管 理対応のための採用意欲がおう盛であったが、現時点 では一段落している。そのほかの産業は慢性的な人手 不足であり、以前とその状況は変わっていない。	
	アウトソーシ ング企業(営業担 当)	周辺企業の様子	・大きな受託案件もあるが、厳しいコストカットが行 われており、全体として外注コストは減らされてい る。	
	新聞社[求人広 告](管理担 当)	求人数の動き	・今月も新聞の求人広告に増加の兆しはみられない。 どの新聞も購読者の減少で部数が落ち込んでおり、広 告の減少に直結している。	
	職業安定所(職 員)	求人数の動き	・新規求人数は減少となったが、全体のなかで大きな 割合を占める製造業では伸びがみられた。秋の観光 シーズンを控え、宿泊業も伸びているが、卸売・小売 業といった業種では減少しており、注意が必要となっ ている。	
	職業安定所(職 員)	周辺企業の様子	・福祉関係の事業所から、求人への応募者が減ってい るとの声が聞かれる。建築、リフォーム業者では、人 材不足により受注を見送ることも検討しなければなら ないとの声もある。景気は良い状態であるが、3か月 前との比較では大きく変わらない。	

	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・下請建設業者は、確保できる労働者数の範囲内ではか受注しなくなっており、日雇い求人数は頭打ちになっている。賃金の上昇もわずかなものにとどまっている。
	学校〔大学〕（就職担当）	周辺企業の様子	・地元の百貨店に行っても、イベント会場以外は閑散としていて活気が感じられない。フロアによる客のばらつきが大きい。
やや悪くなっている	人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・期間限定での求人需要が多い。長期的に人材を補充する余裕のない企業が多いと感じる。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・新聞への広告出稿量からすると、前年を下回る傾向に変化はない。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・今月の新規求人数は、前月比で約20%減、前年比で約6%減となり、製造業を除く産業のほとんどで減少となった。特に、フルタイム求人の減少率が大きい。
悪くなっている	-	-	-